

新年に向けて

J Aしずない女性部部长

木田 正子



新年あけましておめでとうございます。

組合員、各関係機関の皆様におかれましては、新たな年をご家族お揃いで、健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の北海道は、異常気象と言える台風や大雨により、道内各地に甚大な被害をもたらしました。被害に遭われた方たちの一日も早い復旧を願ひ、食料生産に努めて参りたいと思います。

昨年の女性部活動での最も大きな取組としては、「家の光クッキング・フェスタ」の開催がありました。「地場産農畜産物のPR」と「食育」をテーマに子どもたちをはじめ多くの皆様にご参加頂きました。

その開催にあたっては、J Aをはじめ新ひだか町、静内農業高校、新ひだか町商工会女性部からご協力を頂き、誠にありがとうございました。

また、主催者の家の光協会、講師の料理研究家きじまりゆうた先生からは、クッキング・フェスタの意義が尊重された素晴らしいイベントとなり、部員の人柄、調理の手際の良さなど高い評価を頂きました。

しずない農業まつりでは、風が強く、時折雨が降るあいにくの天気となりましたが、前年とほぼ同様の売上を確保することができ、部員の腕前と協力のおかげと感謝しています。

厳しい環境の中ではありますが、農業に携わっているから味わえる幸福を前向きに捉え、今後も女性部活動を進めて参りたいと考えております。

本年も組合員、各関係機関の皆様や女性部員のご協力、ご支援をお願いし、実り多き一年となることをご祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年を迎えて

J Aしずない青年部部长

落合 信幸



新年あけましておめでとうございます。

組合員、各関係機関の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素から青年部活動に対しましては、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年においては、大雨、台風による河川の氾濫、農地への土砂流入、滞水被害、農業用施設の損壊など様々な農業被害が発生し、営農活動においては、大変厳しい一年となりました。

また、経済や政治の面においては、「TPP」「農協改革」と現段階で先行きが不透明な状況となっており、農業を取り巻く環境は

依然として厳しいものとなっております。

そのように先行きが不透明な状況だからこそ、私たち青年部員一人一人が事業や研修を通して視野を広げ、色々な分野の方たちから得た知識を糧として、知恵を出しあい、このような時代を乗り越えていけるよう取り組んで参ります。

昨年の青年部の活動と致しましては、しずない農業まつりへの出店、ハロウインの開催、小学校への食育出前授業などの取組を行いました。

特に小学生を対象に行った食育出前授業では、消費者と生産者との繋がりを築くための大切な一歩として、「食」の大切さを伝えていきたいと考えております。

本年も組合員の皆様をはじめ、各関係機関の皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。